

#### 4. 土地区画整理事業、市街地再開発事業、道路、公園、駐車場等の公共の用に供する施設の整備その他の市街地の整備改善のための事業に関する事項

##### [1] 市街地の整備改善の必要性

###### (1) 現状分析

当市の中心市街地は、これまで面的な都市基盤の整備が行われず、民間中心の協調建て替え等により、市街地環境が改善されてきたことから、江戸時代に城下町として整備された町割りがそのまま残されている。

これら民間の事業により改善されてきた大型ビルについても、年数が経過し改築等が必要な建物が複数存在している。

また、道路整備については、主要な通りにおいて建物低層部分の壁面線を指定し、歩行空間の確保を誘導するとともに、表通り（国道 340 号沿道）の八日町～廿三日町間においては、電線類地中化や歩道の整備が完了したところである。また、平成 15 年度に「くらしのみちゾーン」として国に登録され、現在、六日町地区を中心として、市民との協議を交えながら安全・安心・快適な道づくりを目指し、順次、道路改良を進めているところである。一方、JR 本八戸駅と三日町などの中心街区を結ぶ本八戸駅通りについては、自動車や歩行者の通行量が多いにも関わらず、歩行空間が狭く危険なうえ、商店街はシャッター通り化しつつある。こうした状況の改善を図るため、平成 23 年度に「本八戸駅通り地区まちづくり協議会」と市は「まちづくり協定」を締結し、地区の住民と行政が連携したまちづくりを進めている。

###### (2) 市街地の整備改善の必要性

###### [市街地再開発]

- ・ 3・5・1 沼館三日町線が整備されることにより、本八戸駅通り地区の歩行空間が大幅に改善されることから、今後、本八戸駅通りをはじめとした本八戸駅周辺が、中心市街地の玄関口に相応しい環境となるような整備を進める必要がある。

###### [道路整備]

- ・ 今後さらなる進展が予想される高齢社会に対応するために、引き続き歩行者にやさしい安全・安心・快適な道づくりを進める必要がある。

###### [駐車場]

- ・ 市民ニーズ調査において更なる整備が必要との回答が多いものの、時間貸駐車場については既に郊外の大型ショッピングセンターと同程度の収容台数が確保されており、今後はより効果的な土地の活用策について検討を進める必要がある。

###### (3) フォローアップの考え方

毎年度末に、基本計画に位置づけた各事業の進捗状況の調査を行い、必要に応じて適切な措置を講ずる。

[2] 具体的事業の内容

(1) 法に定める特別の措置に関連する事業

該当なし

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

該当なし

(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>八日町地区複合ビル整備事業</p> <p>[内容] 老朽化したビルを建て替え、商業・オフィス・居住機能を有する複合ビルを整備する</p> <p>[実施時期] 平成 24～29 年度</p>	<p>株式会社八日町プロジェクト</p>	<p>当地区は中心市街地の東西・南北の軸となる主要な幹線道路の交差点に面し、かつては商業施設・遊技場として賑わっていたが、平成 18 年以降は空きビルとなっており、当地区のみならず中心市街地全体の商業の魅力低下や景観への影響が課題となっていた。</p> <p>当事業を実施することにより、こうした状況を打開し、中心市街地の新たな回遊拠点の一つとして賑わいを創出するとともに、良質な居住空間の提供により、居住人口の増加に寄与することが期待される。</p> <div data-bbox="598 1489 997 1803" style="text-align: center;"> </div> <p>整備イメージ</p>	<p>[措置の内容] 社会資本整備総合交付金（優良建築物等整備事業）</p> <p>[実施時期] 平成 24～29 年度</p>	

<p>本八戸駅通り 地区街なみ環境整備事業</p> <p>[内容] 生活道路美装化、コミュニティ道路整備、電線地中化、修景施設整備助成、協議会活動助成など</p> <p>[実施時期] 平成 24～32 年度</p>	<p>市・地権者等</p>	<p>本八戸駅通りは JR 八戸線本八戸駅と三日町周辺をつなぐ道路であり、鉄道利用者が中心市街地を訪れる際の主要な道路となっている。現在、この道路と並行する形で、都市計画道路 3・5・1 号沼館三日町線の整備が計画されている。</p> <p>当事業は、現道を歩行者優先道路として整備するとともに、周辺の街なみを整備することにより、中心市街地の玄関口にふさわしい賑わいある空間の創出が図られると期待される。</p> <div data-bbox="630 790 976 1077" data-label="Image"> </div> <p>整備イメージ</p>	<p>[措置の内容] 社会資本整備総合交付金 (街なみ環境整備事業)</p> <p>[実施時期] 平成 24～32 年度</p>	
<p>くらしのみちゾーン整備事業</p> <p>[内容] 六日町地区の歩道のバリアフリー化、電線類地中化</p> <p>[実施時期] 平成 16～30 年度</p>	<p>市</p>	<p>六日町地区（六日町、十六日町、鷹匠小路等）は中心市街地の中で飲食店が集中する地区であり、平成 16 年から歩道のバリアフリー化や電線類地中化を順次実施している。</p> <p>賑わいある空間の創出に向けて、引き続き当事業に取り組み、誰でも安心して回遊できる環境の整備を推進する。</p>	<p>[措置の内容] 社会資本整備総合交付金 (道路事業)</p> <p>[実施時期] 平成 16～30 年度</p>	
<p>八戸都市計画道路事業 3・5・1 沼館三日町線</p> <p>[内容] 3・5・1 沼館三日町線の整備 ・幅員 15m ・延長 700m</p>	<p>県</p>	<p>本八戸駅通りは JR 八戸線本八戸駅と三日町周辺をつなぐ道路であり、鉄道利用者が中心市街地を訪れる際の主要な道路となっている。しかし、道路の幅員は約 9m と狭く、安全な歩行空間の確保が課題となっている。</p> <p>当事業は、新たな道路を整備することにより、車道と歩道を分離し、歩行</p>	<p>[措置の内容] 社会資本整備総合交付金 (道路事業 (街路))</p> <p>[実施時期] 平成 22～28 年度</p>	

[実施時期] 平成 22～28 年 度		者の安全を確保するものである。		
県道妙売市線 交通安全施設 整備事業 [内容] 県道妙売市線 の歩道整備お よび三日町～ 六日町地区の 電線地中化 [実施時期] 平成 18～27 年 度	県	<p>県道妙売市線は歩行者、自動車交通 量ともに多い道路であるが、歩行空間 が狭く、交通事故も発生しているため、 歩行者の安全確保が課題となっている。</p> <p>当事業は、歩道を拡幅・電線類地中 化を実施することにより、歩行者の安 全を確保するものである。</p>	[措置の内容] 防災・安全交 付金（道路事 業）	[実施時期] 平成 18～27 年 度

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業  
該当なし

(4) 国の支援がないその他の事業

事業名、内容 及び 実施時期	実施 主体	中心市街地の活性化を実現するための 位置付け及び必要性	措置の内容 及び 実施時期	その他 の事項
花小路整備事業 [内容] 段差解消、路面 美装化等によ り、花小路を快 適な歩行空間と して整備する  [実施時期] 平成 28～29 年 度	花小路 周辺地 区まち づくり 協議会	<p>花小路は、中心商店街のビル等のセ ットバックにより形成された路地で、 大半が民有地でありながら公共用通路 として利用されている空間であるが、 一部がビルでふさがれ通り抜けできな かったことや、複数の段差があること、 昼間でも太陽光が入りづらく暗いこと などが課題となっている。</p> <p>しかし、現在進められている三日町 にぎわい拠点整備事業及び六日町地区 複合ビル整備事業により、一部ふさが れていた区間も通り抜けが可能となる 予定である。この機会を捉え、花小路 を快適な歩行空間として整備すること により、中心市街地の更なる回遊性の 向上が図られ、賑わいの創出に寄与す ることが期待される。</p>		